

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	日本文化C		
英文授業科目名	Japanese Culture C		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-日本語・日本文化科目-日本文化科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	亀井 奈保美		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nykamei@camel.odn.ne.jp	なし

<b>【主題および達成目標】</b>
主題： 古代から明治時代までの日本の歴史を学ぶ。 達成目標： ・複数の歴史書を読んで、歴史認識の違いを読み取る。 ・いろいろな日本人の歴史観を知る。 ・批判的に資料を読む力を身につける。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
日本文化A、日本文化B

<b>【教科書等】</b>
教科書：藤岡信勝ほか 「新しい歴史教科書」（扶桑社）

【授業内容とその進め方】

授業内容：

この授業では、メディア・リテラシー、クリティカル・シンキングの知識を深めた後、歴史書、メディアをどう読み解いていったらいいかを考え以下のことを学ぶ。

- ・教科書問題
- ・愛国心
- ・国歌・国旗問題
- ・靖国神社とは
- ・聖徳太子と天皇
- ・ひらがなと日本の心
- ・元寇と神風
- ・武士道と忠臣蔵
- ・戦国時代と戦国武将
- ・江戸幕府と明治維新

授業の進め方：

教科書、プリント、ビデオを使い、講義、ディスカッションを中心に進める。  
毎回授業の最後に授業についてのまとめを提出する。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

授業で学習した内容について積極的に日本人と意見交換し日本人の歴史観を知って日本史への理解を深める。また、期末プロジェクトのテーマ探しに役立てる。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法

出席と課題提出、授業参加	50%
期末プロジェクトと発表	50%

評価基準

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- ・60%以上授業に出席しディスカッションに参加する。そして、その日の課題を提出する。
- ・期末プロジェクトのレポートは自分でテーマを決め提出期限内に提出する。そして発表指定日に発表し、他の人の発表の時は積極的にディスカッションに参加する。レポートでは自分の考えを主張できその根拠を示すことが出来る。そして、対立する意見についての主張と根拠を示し自分の意見の正当性を論理的に述べる事が出来ていることが求められる。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じる。

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

<b>【学生へのメッセージ】</b>
普段から日本人と接することを心がけ、興味のある歴史的事項に関して意見交換し日本人の歴史観を知って様々な歴史観があることを実感してください。

<b>【その他】</b>
なし